



株主メモ

剰余金の配当の基準日：期末2月末日 中間8月31日

定時株主総会の基準日：2月末日

定時株主総会：5月中に開催

公告方法：電子公告をもって行います。ただし、事故やその他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
(登記アドレス <http://www.j-front-retailing.com/>)

株主名簿管理人：三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同 連 絡 先：三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
(電話料無料) (0120)232-711

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

当社ホームページアドレス：<http://www.j-front-retailing.com/>

より詳細な開示情報や最新の企業情報をご覧ください。



J. FRONT RETAILING



2013 年度中間期

株 主 通 信

【第7期(中間)】平成25年3月1日から平成25年8月31日まで

J.フロント リテイリング株式会社

証券コード：3086



DAIMARU

Matsuzakaya

PARCO



設立以来最高の 売上・利益を達成 新たな成長ステージへ

株主の皆様には、日ごろより格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

J. フロントリテイリング（JFR）グループの当上半期決算は、昨年8月に株式会社パルコを連結子会社化した効果に加え、百貨店事業が好調に推移した結果、上半期としては設立以来最高の売上、営業利益、経常利益、純利益を達成することができました。

これに伴い、通期の業績予想を上方修正し、年度としても、設立以来最高の売上と各利益段階で最高益の達成を目指します。

今年4月から、茶村俊一をJFR代表取締役会長、山本良一をJFR代表取締役社長、好本達也を大丸松坂屋百貨店代表取締役社長とする新体制がスタートしております。新体制のもとJFRグループは、引き続き新百貨店モデルの確立と複数の事業を展開するマルチリタイラーとしての成長に向け、経営改革を一層加速させてまいります。株主の皆様には一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長 茶村俊一

代表取締役社長 山本良一

トップインタビュー 山本社長に聞く

百貨店事業の好調などから、 大幅な増益を達成

——上半期の業績はどう推移しましたか。

JFRグループの上半期連結業績は、ピーコックストアが4月の株式売却により連結から外れた一方で、パルコが上期としては今期から連結に加わったこと、さらに、百貨店事業の業績が好調に推移した結果、売上は前年同期比22.2%増の5,586億円、営業利益は同95.8%増の179億円、経常利益は同53.5%増の168億円となりました。純利益は、特別利益としてピーコックストア株式の売却益184億円を計上したこともあり、約5倍の204億円となり、売上・利益とも、第2四半期としてはJFR設立以来最高水準となりました。

なお、パルコとピーコックストアを除いた既存事業ベースで比較しても、増収、増益となっています。

——セグメント別の業績はどうでしたか。

百貨店事業の売上は、前年同期比4.4%増の3,738億円、営業利益は同33.9%増の86億円となりました。特に、食品フロアを全面改装した松坂屋名古屋店、昨年10月に増床グランドオープンした大丸東京店、「建替え前のご愛顧感謝セール」が好調だった松坂屋銀座店は、前年同期比2桁の売上増となりました。

卸売事業は、20.6%の増収で17.6%の増益、クレジット事業は、4.3%の増収で25.4%の増益、その他事業は、4.7%の減収、6.4%の増益となりました。なお、昨年同期から連結に加わったパルコ事業の売上高は、1,312億円、営業利益は58億円でした。



2013年度上半期 連結業績	
売上高	5,586億93百万円 (前年同期比22.2%増)
営業利益	179億25百万円 (同95.8%増)
経常利益	168億93百万円 (同53.5%増)
純利益	204億64百万円 (同424.0%増)

増床・改装が効果を発揮、高級品需要にも対応

——高級品の売上が好調ですね。

大丸松坂屋百貨店では、上半期のラグジュアリーブランドの売上が前年同期比11.4%増、美術宝飾貴金属が同36.9%増と大幅な増加となりました。その背景には富裕層の消費行動の変化があると考えています。2011年3月の大震災をきっかけに、将来について過剰に心配するのではなく、今の生活の質を充実向上させたいと考え、そのためには、本質的な価値が高いものについてはお金を惜しまない傾向が強くなっています。

当社はこの変化に着目し、「新百貨店モデル」の確立に向けて品揃えの幅の拡大を進める中で、高級品についても強化・拡充を図ってきました。大丸梅田店や大丸東京店の増床時にはラグジュアリーブランドを大幅に拡大、また、松坂屋名古屋店や大丸神戸店の改装時にも高級品の取り扱いを強化してまいりました。その結果が、同業を上回る高い伸び率に結びついていると考えています。

——高級品需要に応えるには、
外商の強化も欠かせませんね。

本年度は外商新規口座1万件獲得を目標に、専門部署を設置して取り組んでおり、上半期は4,000件を超える新規口座を獲得しました。9月には利便性向上と審査能力の抜本的向上を目的に外商カードのクレジット化を実施、これにより今まで取り込むことが難しかった40～50代の新たな富裕層お客様の獲得を目指しています。



大丸東京店のインターナショナルビューティック



松坂屋名古屋店のポケモンセンター



大丸神戸店旧居留地38番館に「エルメス」を出店

2013年度上半期 大丸松坂屋百貨店の店別売上高

店 別		金 額(百万円)	前年同期比(%)
大 丸	大阪・心斎橋店	40,138	△1.0
	大阪・梅田店	29,386	△4.8
	東 京 店	32,423	35.6
	浦和パルコ店	2,100	4.3
	京 都 店	33,245	0.7
	山 科 店	2,136	△0.2
	神 戸 店	40,162	1.7
	須 磨 店	5,131	6.6
	芦 屋 店	3,736	0.0
	札 幌 店	28,494	5.0
計		216,954	2.3
松坂屋	名 古 屋 店	59,848	11.5
	上 野 店	24,170	△1.6
	静 岡 店	11,105	3.0
	高 槻 店	4,803	△0.2
	豊 田 店	4,201	3.7
	銀 座 店	9,554	81.9
計		113,683	10.2
合 計		330,638	4.9

——各店の増床・改装効果はいかがですか。

昨年10月に増床グランドオープンした大丸東京店は、顧客の幅が広がり、入店客数が大幅に増加しています。昨年9月から1年間の売上は前年同期比34.6%増の657億円となり、当初の売上目標を17億円上回りました。面積は40%増加しましたが、人員は増やさずに効率の高い売場運営体制を構築したことから、利益面でも想定を上回っています。

2年にわたる大改装の総仕上げとして食品フロアを全面改装した松坂屋名古屋店では、上半期の食品の売上は前年同期比11.7%増となりました。また、入店客数の増加を通じて上層階にも効果が波及しており、特に婦人雑貨など昨年改装した売場の売上が大きく伸びています。さらに、大丸梅田店で好評のポケモンセンターを導入したところ、お客様連れのお客様のご来店が顕著に増加しています。これらの取り組みにより、松坂屋名古屋店の上半期の売上は、売場面積の増加が全くないにもかかわらず、同11.5%の大幅増となりました。

——立ち上げから3年が経過した
「自主事業」への取り組みはどうでしょうか。

自主事業では、新たな商品の導入やシーズン別の商品編集、完全買取商品の拡大などに取り組んだ結果、売上高は前年同期比4.9%増となり、売上総利益率が前年同期から0.1ポイントアップした結果、売上総利益は同5.2%の増加となりました。

また、3月には、大丸心斎橋店・梅田店・札幌店に、独自編集の雑貨セレクトショップ「woopwoop!」をオープンしました。「woopwoop!」は、9月には初の外部出店として福岡パルコ・池袋パルコに、10月には松坂屋名古屋店にも出店しています。

消費増税を克服し、新たな成長ステージへ

——それでは、2013年度通期の業績はどうなりそうでしょうか。

通期の連結営業利益は425億円（前期比37.7%増）を予想しており、これはJFR設立以来の最高益となる水準です。売上、経常利益、当期純利益につきましても、それぞれ設立以来最高となる水準の達成を目指してまいります。

——来年4月から消費税率が引き上げられますが。

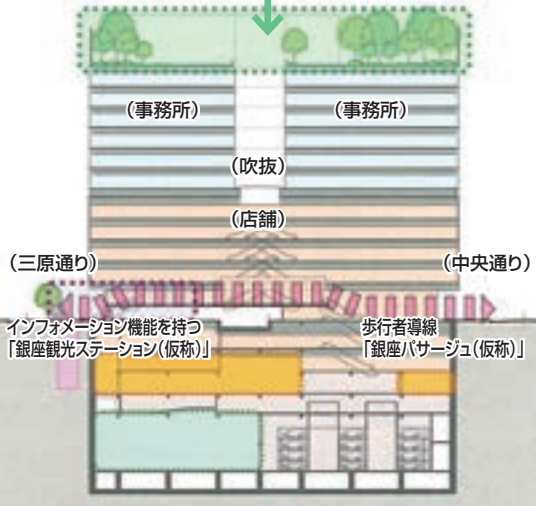
消費税率引き上げによる影響の大きさは、引き上げ時点の経済環境に大きく左右されと考えています。前回の引き上げ時（1997年4月）、百貨店は大きな影響を受けましたが、当時の日本経済はバブル崩壊後のバランスシート調整過程にあったことを考慮に入れる必要があると思います。現在景気は基本的に拡大基調にあり、高級品を中心に消費マインドも強いことから、前回ほど大きな影響は受けないのではないかと考えています。

——対策としてはどのようなことを考えていますか。

増税後の売上影響を抑えるためには、増床や大型改装で新たにご来店されたお客様に固定客となっていただくことが最も効果が高いと考え、外商やカード口座の新規獲得に非常に力を入れています。また、多少売上が落ち込んでも利益を出せるよう、経営構造の一層の効率化に取り組んでいます。もちろん、増税後は、需要の変化にすばやく対応して売上影響を最小限に止めるとともに、経費のコントロールをしっかりと行ってまいります。



2013年度 連結業績見通し	
売上高	1兆1,600億円 (前期比6.2%増)
営業利益	425億円 (同37.7%増)
経常利益	400億円 (同24.2%増)
当期純利益	290億円 (同138.0%増)



銀座新施設 階層図（案）

——中期的な成長に向けての取り組みを教えてください。

松坂屋上野店の南館を、商業・シネマコンプレックス・オフィスで構成する複合高層ビルに建替えることを決定いたしました。商業部分には子会社のパルコが出店し、オープンは、2017年秋を予定しています。
建替えにより、百貨店の本館とパルコ、シネマコンプレックスとのシナジー効果により、商業施設としての魅力が一層高まるものと予想しています。加えて、良質なオフィス供給による就業者数の増加も予想されることから、上野御徒町地区の活性化に貢献できると考えています。

——銀座の再開発計画も進んでいますね。

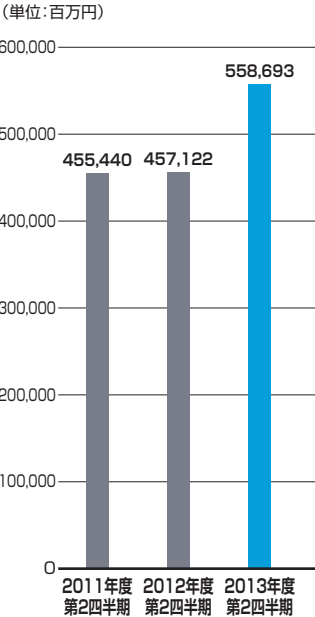
銀座六丁目地区再開発計画は順調に進んでおり、昨年12月には東京都から再開発組合設立の認可を受けました。
松坂屋銀座店については、建替えに向け6月末で営業を終了しており、2017年の開業に向け開発工事に既に着手しています。
当社が運営する商業施設の内容については現在検討中ですが、銀座という地区に何が求められているのか徹底的にマーケティングを行った上で、これまでにない、新たな商業施設を開発したいと考えています。

——最後に、株主還元についての考え方は。

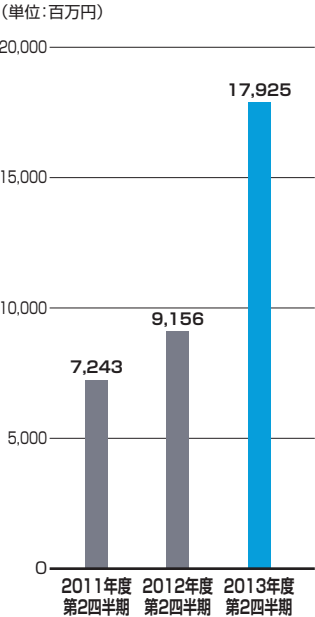
本年度の中間配当は、前年度から0.5円増配の5円とさせていただきます。期末配当も5円を予定しており、年間では前年度から1円増配の10円と、3年連続の増配になります。来年度以降も、利益水準を踏まえ、持続的な増配を実施していきたいと考えています。

第2四半期(中間期)財務ハイライト(連結)

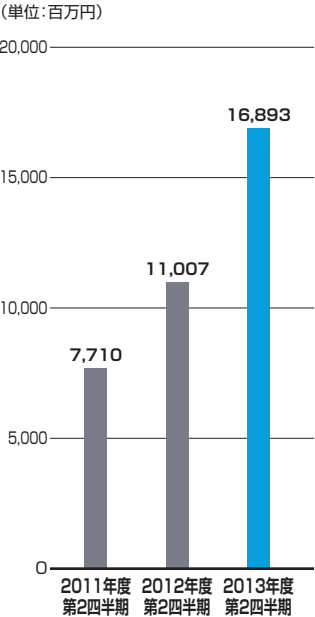
売上高



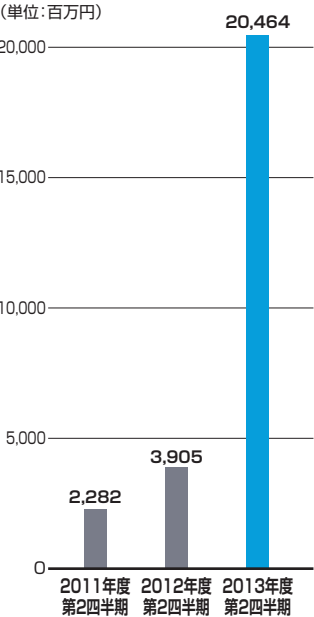
営業利益



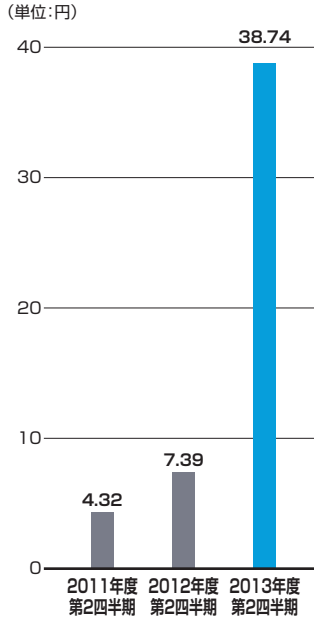
経常利益



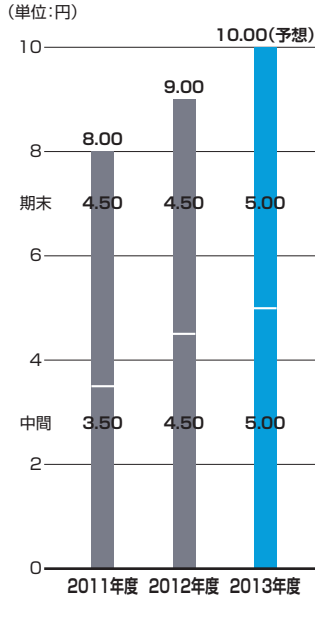
純利益



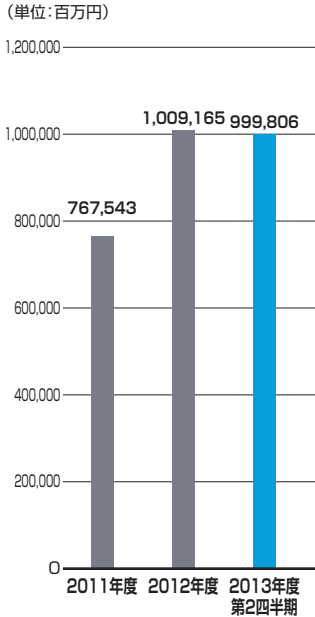
1株当たり純利益



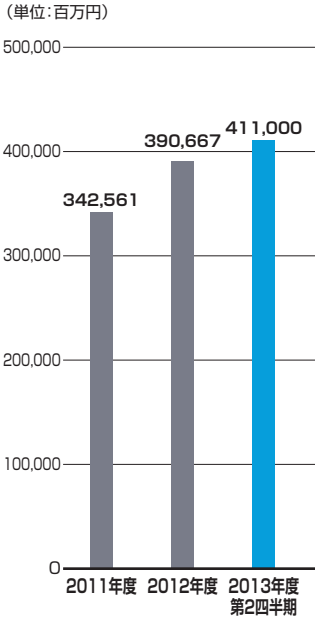
1株当たり配当金



総資産



純資産



売上高は、スーパーマーケット事業を連結から除外した影響はありましたが、主力の百貨店事業が好調に推移したことや、パルコ事業を新たに連結に加えたことにより、5,586億円(前年同期比22.2%増)となりました。

営業利益は、増収に加え、経費管理の徹底により、179億円(同95.8%増)となりました。

また、純利益は、(株)ピーコックストアの株式売却益計上などにより、204億円(同424.0%増)となりました。

総資産は、前期末から93億円減少の9,998億円、純資産は、主に利益剰余金の増加により前期末から203億円増加の4,110億円となり、この結果、自己資本比率は36.1%(前期末比2.3%増)となりました。

各キャッシュ・フローについては、営業活動によるものが、(株)パルコの連結子会社化及び松坂屋銀座店再開発補償金の受取りにより収入が増加、投資活動によるものが、前年の(株)パルコの株式取得の反動により支出が減少、財務活動によるものが、短期借入金の返済などにより支出が増加しました。

キャッシュ・フロー

(単位:百万円)			
科 目	2011年度第2四半期	2012年度第2四半期	2013年度第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,881	12,772	31,780
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,082	△70,437	△5,395
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,479	70,635	△27,675

1株当たり情報・財務指標

科 目	2011年度	2012年度	2013年度第2四半期
1株当たり純資産(円)	629.80	646.18	682.66
自己資本比率(%)	43.4	33.8	36.1
自己資本当期純利益率(ROE)(%)	5.8	3.6	5.8

松坂屋銀座店、営業を一旦終了。 銀座エリア最大級の複合商業施設へ

東京・銀座のランドマークとして88年にわたりご愛顧いただきました松坂屋銀座店は、6月30日、銀座6丁目地区の再開発に伴い一旦営業を終了し、2017年を目処に、銀座エリア最大級となる複合商業施設へと生まれ変わります。

松坂屋銀座店の敷地を含む銀座6丁目の2街区を一体開発する大規模な再開発により、新たに建設される建物は、地上13階、地下6階、延床面積約14万7,600㎡の複合商業施設を予定しております。新店舗のイメージとしては、既存の業態にこだわらず、「質・量

ともに日本を代表する小売業界のリーディングカンパニー」の地位確立を目指すJ.フロント リテイリングを象徴し、情報発信をリードする世界の銀座にふさわしい新しい商業施設を目指していきます。



新たに建てられる複合商業施設（イメージ）



大正13年の開店当時（上）と
昭和39年の東京オリンピック時（下）
の松坂屋銀座店

松坂屋上野店南館が建替えへ



新南館（イメージ）

大丸松坂屋百貨店は、松坂屋上野店南館を建替え、2017年秋には、新たにパルコやシネマコンプレックス、オフィスなどが入居する高層複合ビルとしてオープンする予定です。これに伴い、2014年3月をもって南館の営業を終了しますが、本館は、南館の一部ブランドを移設・全館改装し、同月グランドオープンします。

新南館は、低層部が商業施設、高層部が賃貸オフィ

スとなり、商業施設は、地下1階が本館と一体となった食品フロア、1階から6階が「パルコ」、7階から10階が「TOHOシネマズ」となる予定です。

当社とパルコとの店舗開発のノウハウを活用し、近年再開発が進みつつある御徒町地区に新たな賑わいを創出し、地域の活性化に貢献してまいります。

松坂屋名古屋店、13年ぶり全面改装の食品売場が人気

この6月、松坂屋名古屋店本館地下1～2階の食品フロアに、名古屋随一のフードゾーン「ごちそうパラダイス」がグランドオープン。老舗・銘店から新感覚のショップまで、名古屋地区最大級となる153（うち54ブランドが新規導入）の人気ブランドが勢揃いしました。



にぎわう洋菓子売場

特に地下1階には、見る・探す・選ぶ楽しさにあふれた巨大スイーツゾーンが登場。また、地下2階には、“おしゃれな食材専門店が並ぶパリの小径”をイメージした食のスペシャリティゾーン「ターブル プリュス」を展開。毎日の食事をセンスアップしてくれる10ブランドを展開し、食への関心が高い女性のハートをつかんでいます。

さらに、売場内のご案内やポーターサービスなど、快適なお買い物のお手伝いをする「ごちパラアテンダン



食のスペシャリティゾーン
「ターブル プリュス」



人気の
「ごちパラ試食隊」

ト」を配置したほか、無料の冷蔵コインロッカーを倍増し、お荷物のまとめ台や休憩用いすも増やすなど、お買い回りがしやすい環境を整備しました。

また、期間・時間限定の「ごちパラ試食隊」がデビュー。ブランドの垣根を越えた試食会では、コミュニケーションを楽しみながら、話題の味、人気の味をお楽しみいただいております。

大丸札幌店が開店10周年



開店10周年を記念し「秋の大感謝祭」を開催

大丸札幌店は、今年の3月で開店10周年を迎えました。同店は、徹底した効率化や独自性の高い品揃えで「新百貨店モデル」のモデルケースとなっている店舗。JR札幌駅直結の便利な立地もあって、厳しい経済状況の中でも、開店以来10年連続売上高を拡大、地域一番店として地元の皆さまにご愛顧いただいています。年間の来店者数も、大丸梅田店、大丸東京店に次ぐ規模に成長しました。

現在同店では、「感謝」と「夢」をテーマに、さまざまな10周年企画を1年にわたり展開中です。3月には



「いいモノ・いいコト マルシェ」（7階催事場）では、北海道のこだわり食材と話題のショップがコラボレーション



「大誕生祭」を開催したほか、10月には「これからの10年」をテーマとした「秋の大感謝祭」を実施。年末にもクリスマスを中心に記念企画の開催を予定しています。

これまで同店では、「今だけ、ここだけ、大丸だけ」をテーマに主に東京・大阪発の流行や情報をお客様に提案してきました。10周年を機に、今後は、「今から、ここから、大丸から」をテーマに北海道ならではの文化や生活をはじめ、北海道の魅力を全国へ発信していきます。

大丸・松坂屋×パルコ 共同販促の実施やショップを相互出店

大丸松坂屋百貨店とパルコは、本年3月に初めて両社をあげた全社共同販促として「ウルトラサンクスフェスティバル」を開催。期間中両社で前年を上回る入店客数、売上高となりました。

また、「母は大丸、娘はパルコ」と銘打ったキャンペーンが定着している博多大丸と福岡パルコでは、博多大丸の母の日ギフトショップを福岡パルコ内に来店し、話題となりました。

さらに、この9月には、大丸松坂屋オリジナルの雑貨セレクトショップ「woopwoop!」を、池袋と福岡のパルコに出店しました。



福岡での共同販促のポスター



woopwoop!池袋店

「PLAZA TOKYO」を台湾に相次ぎ出店

子会社のJFR PLAZA Inc.(台北市)は、雑貨販売ブランド「PLAZA TOKYO」4店舗を、台湾に相次ぎオープンさせました。主なターゲットは20～40代のOLで、認知度が高い雑貨ブランド「PLAZA」の商品編集を軸に、現地のお客様の嗜好を意識した商品も取り扱っています。

第1号店の「PLAZA TOKYO SOGO 復興館店」(台北市)は、「From TOKYO」をコンセプトにmade in Japanの化粧品や限定キャラクター商品などを展開。続いて、小規模ながらその利点を生かした業務運営に挑戦した2号店「PLAZA TOKYO 誠品信義 POP UP STORE」、出店立地の地域特性に応じた商品を展開した3号店「PLAZA TOKYO SOGO 新竹駅前店」、複合ショッピングモールへ出店の「PLAZA TOKYO 美麗華百樂園店」の4店。多様な商業施設、売場面積に対応した出店を通じて様々なショップ運営のモデルを確立し、今後も台北を中心に店舗網の拡大を進めていく予定です。

PLAZA TOKYO 誠品信義 POP UP STORE

株主様ご優待制度のご案内

J.フロントリテイリング株式会社は、毎年2月末日現在で1,000株以上ご所有の株主の皆さまに対し、(株)大丸松坂屋百貨店および関係百貨店(全国19店舗)でご利用いただける「大丸・松坂屋 お買い物ご優待カード」および、(株)パルコの各店でご利用いただける「パルコお買い物ご優待券」を5月中旬に発行いたします。

なお、毎年8月31日現在の新規株主の皆さまには、11月中旬に発行いたします。(有効期限は翌年5月31日まで)

優待 01

大丸・松坂屋の現金によるお買物が本カードのご利用で、10%OFF!

一部割引対象外の商品がございます。

・ご所有株式数と継続保有年数に応じて、年間ご利用限度額が設定されています。

「大丸・松坂屋 お買い物ご優待カードご利用限度額の設定基準」

2月末日現在の保有株式数	当社株式継続保有期間	
	3年未満	3年以上
1,000株以上3,000株未満	100万円	200万円
3,000株以上4,000株未満	150万円	250万円
	(以後1,000株増す毎に50万円ずつ加算)	
4,000株以上～10,000株未満	200万円～450万円	300万円～550万円
10,000株以上	500万円(上限)	600万円(上限)

※8月31日現在の新規株主様のみを対象に、11月中旬に発行する株主様ご優待カード(有効期限 翌年5月31日まで)のご利用限度額は、上表、「3年未満」の設定の半額といたします。

優待 03

パルコの現金によるお買物が「パルコお買い物ご優待券」のご利用で税込2,000円ごとに100円OFF!

一部割引対象外の商品がございます。

国内のパルコ(全国19店舗)の店頭でご利用いただけるご優待券40枚綴りを5月中旬に発行いたします。

※8月31日現在の新規株主様のみを対象に、11月中旬に発行する「パルコお買い物ご優待券」は、20枚綴りいたします。

※ZERO GATE店舗・Pedi 汐留ではご利用いただけません。



優待 02

大丸・松坂屋の各店ミュージアムなどに無料入場!

本カードのご提示により、ご本人およびご同伴者1名様に限り、有料文化催事へ無料でご入場いただけます。

PARCOのアトスペース(札幌・渋谷・名古屋・福岡)にも無料でご入場いただけます。

大丸・松坂屋お買い物ご優待カードについて

- 1.本カードは、お買い上げ時に売場係員にご提出いただきますと、(株)大丸松坂屋百貨店および関係百貨店における現金による値札価格でのお買物に限り、左記のご利用限度額の範囲内でその **10%**を割引いたします。
 - ・各種クレジットカードとの併用はできません。
 - ・一部、割引除外品がございます。
 - 例) 生鮮食料品(海産物、精肉、青果)、ルイ・ヴィトン、ティファニー、シャネルなど
 ※詳しくは、カード送付時に添付する「ご利用上のご注意」にてご確認ください。
- 2.本カードは、他人に譲渡、売買、貸与等をされた場合は無効といたします。本カードは紛失されても再発行いたしません。また、法人株主様の他のご名義への分割書換発行はできませんので、なにとぞご了承くださいませ。

パルコお買い物ご優待券について

- 1.通用店における現金による値札価格でのお買物税込2,000円ごとに100円分としてご利用いただけます。お会計時にお買い上げ金額2,000円ごとに本券1枚をご使用ください。
 - ・各種クレジットカード、商品券類との併用はできません。
 - ・一部、割引除外店舗、品目がございます。
 - 例) 食品スーパー、書店、CDショップ、楽器店など
 ※詳しくは、優待券に記載の「ご利用上のご注意」にてご確認ください。
- 2.本券は紛失されても再発行いたしません。

お問合わせ先 東京都中央区八重洲二丁目1番1号 ヤンマー東京ビル内
J.フロントリテイリング株式会社 株式担当
電話(フリーコール)0120-938-077(水・日曜日は定休日)

大丸・松坂屋・パルコ各店の主なイベント

大丸・松坂屋・パルコの各店では各種イベントを開催し日常とは違った空間を演出することにより
お買い物とはまた違った楽しみを皆さまにご提供いたします。



大丸ミュージアム〈神戸〉 大丸神戸店9階



松坂屋美術館 松坂屋名古屋店南館7階



パルコミュージアム（渋谷パルコ パート1 3階）

今後の展覧会スケジュール

2013年11月 観阿弥 生誕六八〇年 世阿弥 生誕六五〇年記念
観世宗家展

（松坂屋美術館）
10月19日（土）～11月24日（日）

ピカソ 愛と芸術の版画展

（札幌パルコ7F スペース7）
11月9日（土）～12月2日（月）

機動戦士ガンダムUC(ユニコーン)展
～Road to episode 7～

（福岡パルコ8F パルコファクトリー）
11月22日（金）～12月8日（日）

夏目友人帳原画展 ～緑川ゆきの世界～

（大丸心斎橋店 北館14階イベントホール）
11月27日（水）～12月16日（月）

よつばとダンボー展

（名古屋パルコ西館8F パルコギャラリー）
11月28日（木）～12月9日（月）

再興第98回 院展

（松坂屋美術館・マツザカヤホール）
11月30日（土）～12月8日（日）

12月 **機動戦士ガンダムUC(ユニコーン)展**
～Road to episode 7～

（名古屋パルコ西館8F パルコギャラリー）
12月13日（金）～2014年1月6日（月）

SNOOPY JAPANESE

スヌーピー×日本の匠展

（松坂屋美術館）
12月14日（土）～2014年1月19日（日）

スノーマンの世界展

（大丸心斎橋店 北館14階イベントホール）
12月18日（水）～2014年1月6日（月）

2014年1月 **第58回 現代書道二十人展**

（松坂屋上野店 本館6階催事場）
1月2日（木）～1月8日（水）

ありがとう45周年！

みんなのサザエさん展

（大丸神戸店 9階イベントホール）
1月15日（水）～1月26日（日）
（大丸心斎橋店 北館14階イベントホール）
1月29日（水）～3月23日（日）



©長谷川町子美術館



©2013 Peanuts Worldwide LLC

第58回 現代書道二十人展

（松坂屋美術館）
1月25日（土）～2月2日（日）

2月 **『日本画の伝統と未来へ』 星星會展**

（松坂屋美術館）
2月8日（土）～3月2日（日）

3月 **宝塚歌劇100周年記念**
「宝塚歌劇100年展」
～夢、かがやきつづけて～

（松坂屋美術館）
3月8日（土）～4月6日（日）



©宝塚歌劇団

4月 **第69回 春の院展**

（松坂屋美術館）
4月12日（土）～4月20日（日）

エヴァンゲリオン展

（松坂屋美術館）
4月26日（土）～5月20日（火）



©カラー

ホームページの
ご案内

大丸 <http://www.daimaru.co.jp/museum/index.html>

松坂屋 <http://www.matsuzakaya.co.jp/> から各店のイベントカレンダーをご覧ください。
※松坂屋美術館の展覧会情報は専用ホームページをご覧ください。
<http://www.matsuzakaya.co.jp/museum/museum.html>

パルコ <http://www.parco.co.jp>
※パルコの展覧会情報は専用ホームページをご覧ください。
<http://www.parco-art.com/web/>

※「J.フロント リテイリング株主様 大丸・松坂屋 お買い物ご優待カード」のご提示により、

15 ご本人およびご同伴者1名様に限り、大丸・松坂屋・PARCOのアートスペース（札幌、渋谷、名古屋、福岡）の有料文化催事へ無料でご入場いただけます。

※上記はいずれも予定です。展覧会名称・会期・会場などは変更する場合がございます。

公正で信頼される企業として

JFRグループは、ISO26000に則って設定した7つの課題への取り組みを通じ、様々なステークホルダーへの説明責任を果たし、信頼関係の構築につなげていくことにより、公正で信頼される企業として成長していきます。



「ピンクリボン運動」を支援

JFRグループは、さまざまなイベントや寄付活動を通じ、乳がんの早期発見・診断・治療の大切さを訴える「ピンクリボン運動」を支援しています。10月の「ピンクリボン月間」には、チャリティピンバッジの販売、「乳がん検診ガイドBOOK」の配布のほか、各地区のNPOと連携した「乳がんセミナー」や、乳がん触診モデルを使った「しこりタッチ体験」などのイベントを開催。ピンクリボン運動への寄付付き「ハートのパン」も販売しました。

一方、JFRカードは、期間中のカード申込者にチャリティピンバッジをプレゼント。カウンターでは募金活動も行ないました。



ピンクリボン さくらパンダ



ハートのパン



店頭でのピンクリボン啓発運動



ペットボトルキャップのリサイクルで、ワクチン10万人分を寄付

JFRグループは、ペットボトルのキャップを集めてリサイクルし、その対価を認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」を通じて、世界のこどもたちにワクチンを届ける活動を2009年11月より実施しています。取り組みを始めて、この9月で累計約5,200万個のペットボトルキャップを回収。10月には、ポリオワクチン換算で累計10万人分の寄付となりました。

BCP訓練を継続実施し、有事の際の対応力を強化

JFRグループでは、災害発生時における人命の確保を優先しつつ、営業活動の早期再開を目指す「事業継続計画（BCP）」を策定するとともに、この実効性を高めるためにシミュレーション訓練を実施しています。

被災直後の実際の状況を想定した訓練を通して、有事の際にキーとなる緊急対策本部が迅速・的確な判断や行動ができることを目指しています。



被災直後の初動訓練
(松坂屋名古屋店)



(大丸梅田店)

AED訓練を、約1万人が体験

大丸松坂屋百貨店では、AED(自動体外式除細動器)を各店に設置し、取引先派遣者も含めた従業員へAEDの体験訓練を実施しています。この取り組みにより、この8月で、約7,800名が講習会を受講しました。

本年末には、累計で従業員の4分の1にあたる約1万人が体験訓練を受ける予定です。



各店の従業員がAEDを体験



1 大丸心斎橋店
〒542-8501
大阪市中央区心斎橋筋一丁目7番1号
TEL: (06) 6271-1231



2 大丸梅田店
〒530-8202
大阪市北区梅田三丁目1番1号
TEL: (06) 6343-1231



3 大丸京都店
〒600-8511
京都市下京区四条通
高倉西入立売西町79番地
TEL: (075) 211-8111



4 大丸神戸店
〒650-0037
神戸市中央区明石町40番地
TEL: (078) 331-8121



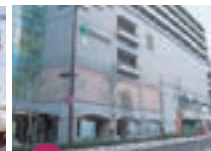
7 大丸須磨店
〒654-0154
神戸市須磨区
中落合二丁目2番4号
TEL: (078) 791-3111



8 大丸芦屋店
〒659-0093
兵庫県芦屋市船戸町1番31号
TEL: (0797) 34-2111



5 松坂屋高槻店
〒569-8522
大阪府高槻市
紺屋町2番1号
TEL: (072) 682-1111



6 大丸山科店
〒607-8080
京都市山科区
竹鼻竹ノ街道町91番地
TEL: (075) 255-7365



13 大丸札幌店
〒060-0005
札幌市中央区北五条西四丁目7番地
TEL: (011) 828-1111



14 大丸東京店
〒100-6701
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
TEL: (03) 3212-8011



15 松坂屋上野店
〒110-8503
東京都台東区上野三丁目29番5号
TEL: (03) 3832-1111



16 大丸浦和パルコ店
〒330-0055
さいたま市浦和区
東高砂町11番1号
TEL: (048) 615-6000



17 松坂屋静岡店
〒420-8560
静岡市葵区御幸町10番地の2
TEL: (054) 254-1111



18 松坂屋名古屋店
〒460-8430
名古屋市中区栄三丁目16番1号
TEL: (052) 251-1111



19 松坂屋豊田店
〒471-8560
愛知県豊田市
西町六丁目85番地1
TEL: (0565) 37-1111



1 渋谷PARCO



2 池袋PARCO



3 名古屋PARCO



4 福岡PARCO

- 5 札幌PARCO
- 6 仙台PARCO
- 7 宇都宮PARCO
- 8 浦和PARCO
- 9 吉祥寺PARCO
- 10 調布PARCO
- 11 ひばりが丘PARCO
- 12 新所沢PARCO

- 13 千葉PARCO
- 14 津田沼PARCO
- 15 松本PARCO
- 16 静岡PARCO
- 17 大津PARCO
- 18 広島PARCO
- 19 熊本PARCO

- 20 渋谷ZERO GATE
- 21 心斎橋ZERO GATE
- 22 道頓堀ZERO GATE
- 23 広島ZERO GATE
- 24 名古屋ZERO GATE (仮称) (2014年秋オープン予定)
- 25 PEDI 汐留

海外店舗: PARCO Marina Bay (シンガポール)



9 株式会社 博多大丸 福岡天神店



10 株式会社 下関大丸



11 株式会社 高知大丸



12 株式会社 鳥取大丸

会社の概要
 (平成25年8月31日現在)

商号: J.フロント リテイリング株式会社
 本社所在地: 東京都中央区銀座六丁目10番1号
 設立: 平成19年9月3日
 事業内容: 百貨店業等の事業を行う子会社
 及びグループ会社の経営計画・管理
 並びにそれに付帯する業務

資本金: 300億円
 発行可能株式総数: 2,000,000,000株
 発行済株式の総数: 536,238,328株
 株主数: 68,376名

大株主	所有株数(千株)	持株比率(%)
1 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	31,818	6.02
2 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	28,035	5.31
3 日本生命保険相互会社	22,114	4.19
4 J.フロント リテイリング共栄持株会	13,994	2.65
5 株式会社三菱東京UFJ銀行	12,500	2.37
6 第一生命保険株式会社	11,464	2.17
7 東京海上日動火災保険株式会社	6,836	1.29
8 J.フロント リテイリング従業員持株会	6,688	1.27
9 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	6,409	1.21
10 株式会社竹中工務店	5,725	1.08

(注) 持株比率は、自己株式 (7,873千株) を控除して計算しております。

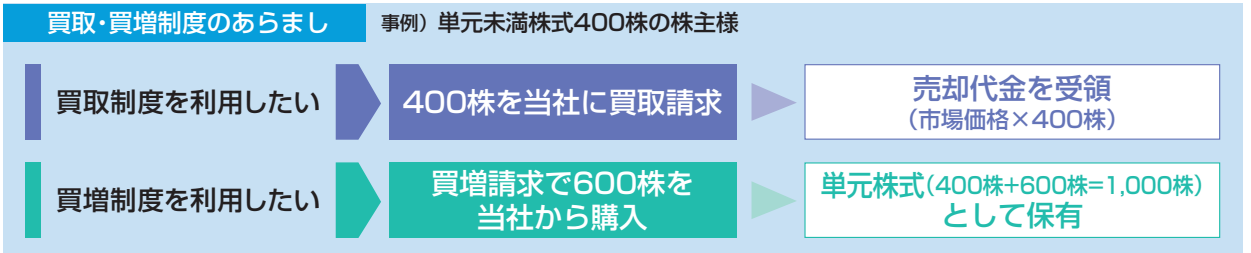
役員（平成25年9月1日現在）			
取締役会長 （代表取締役）	茶村 俊一		
取締役社長 （代表取締役）	山本 良一		
取締役	奥田 務	株式会社りそなホールディングス 社外取締役 株式会社日本取引所グループ 社外取締役	
取締役	好本 達也	株式会社大丸松坂屋百貨店 代表取締役社長兼経営企画室長 株式会社大丸松坂屋セールスアシエツ 代表取締役社長	
取締役	牧山 浩三	株式会社バルコ 取締役兼代表執行役社長	
取締役 兼常務執行役員	塚田 博人	経営戦略統括部長 株式会社白青舎 社外取締役 株式会社バルコ 社外取締役	
取締役 兼常務執行役員	小林 泰行	関連事業統括部長 株式会社バルコ 社外取締役	
取締役 兼常務執行役員	林 俊保	業務統括部長 株式会社白洋舎 社外取締役	
取締役	高山 剛	大同特殊鋼株式会社 相談役	
取締役	橘・フクシマ・咲江	G&Sグローバル・アドバイザーズ株式会社 代表取締役社長 株式会社ブリヂストン 社外取締役 味の素株式会社 社外取締役 三菱商事株式会社 社外取締役	
監査役	鶴田 六郎	弁護士 TPR株式会社 社外取締役 株式会社三菱ケミカルホールディングス 社外監査役 株式会社三井住友フィナンシャルグループ 社外監査役	
監査役	野村 明雄	大阪瓦斯株式会社相談役 株式会社ロイヤルホテル 社外取締役 塩野義製薬株式会社 社外取締役 株式会社大丸松坂屋百貨店 社外監査役	
監査役	夏目 和良	中部日本放送株式会社 代表取締役会長 株式会社大丸松坂屋百貨店 社外監査役	
監査役（常勤）	荒井 健治	株式会社大丸松坂屋百貨店 監査役	
監査役（常勤）	西浜 確	株式会社大丸松坂屋百貨店 監査役	
(注) 1.取締役 高山 剛、橘・フクシマ・咲江の両氏は、社外取締役であります。 2.監査役 鶴田六郎、野村明雄、夏目和良の3氏は、社外監査役であります。			
執行役員	斎藤 賀大	経営戦略統括部部長経営企画担当	
執行役員	平山 誠一郎	経営戦略統括部 グループ組織要員政策担当 株式会社大丸松坂屋百貨店取締役 兼執行役員業務本部人事部長	
執行役員	榎本 朋彦	経営戦略統括部部長グループIT新規事業開発担当	
執行役員	清水 三樹夫	関連事業統括部部長関連事業担当	
執行役員	堤 啓之	業務統括部財務部長	

株式に関する手続き

単元(1,000株)未満株式 買取・買増制度のご案内

当社の単元株式は1,000株となっており、1～999株の単元未満株式につきましては、株式市場での売買ができない、株主総会で議決権を行使できない、株主様ご優待の適用対象外となるなど、さまざまな制約がございます。

このようなご不便を解消するために、単元未満株式を当社が買い取る制度、および株主様が当社に対して買い増しを請求できる制度を実施しております。



特別口座から証券会社口座への振替手続きのご案内

当社株主様のご所有株式の内、株券としてお手許に保有されたまま、平成21年1月5日のいわゆる「株券の電子化」に関する法律^(※1)の施行までに証券会社に預託されず、その後も証券会社口座への振替手続きをされていない株式については、「特別口座^(※2)」に登録されております。

「特別口座」に登録されている株式は、そのままでは売却することができません。株式の売却その他、保有株式の管理やお手続きを便利に行えるよう、証券会社に口座を開設していただき、特別口座から証券会社口座へお振り替えされることをお勧めいたします。

(※1)「株式等の取引に係る決済の合理化を図るための社債等の振替に関する法律等の一部を改正する法律」(平成16年法律第88号)

(※2) 当社株式の特別口座管理機関は「三菱UFJ信託銀行」です。

